＜「IEICE Proceedings Seriesへのアーカイブ費用」予算計上について＞

・国際会議計画趣意書「予算計画」への記入

　オープンアクセスを希望する場合、「国際会議計画趣意書（♯1）」の「予算計画」には

　「会議管理費（♯2）」と同様に、「IEICE Proceedings Seriesへのアーカイブ費用」

　を予算計上する。

　　［アーカイブ費用（料金）］

・オープンアクセスの場合：登載料は、30 万円or 論文総ページ数×1,000 円の高い方となる。例えば、

・4 ページの原稿が20 件の場合、80 ページ×1,000 円=8 万円なので、登載料は30 万円になる。

・6 ページの原稿が100 件の場合、600 ページ×1,000 円=60 万円なので、登載料は60 万円となる。

　オープンアクセスを希望しない場合（会員のみへのクローズドアクセス）には

　「IEICE Proceedings Seriesへのアーカイブ費用」は計上不要。

　（♯1）「国際会議計画趣意書」

　　　　各ソサイエティ・グループ指定のフォーマットあり。各ソサイエティ・

　　　　グループへの確認が必要。

　（♯2）「会議管理費」

　　　　直接費支出（印刷費、会場費、会議費等々）を100とした場合の

　　　 追加の10相当額とし、これを「会議管理費」として支出科目に加える。

　　　 この会議管理費を含めた総支出を、総収入で賄う計画を立てるものとする。

・毎年11月頃、ソサイエティ・グループ財務（会計）幹事に提出する「予算書」への記入

　「【国際会議（国内委員会）】形態別様式（予算書）」には、

　「ソサイエティ・グループ等への繰入額（♯3）」として記入する

　（♯3）現在「ソサイエティ・グループへの繰入額」

　　　　　　⇒「ソサイエティ・グループ等への繰入額」に変更予定

＜IEICE Proceedings Series へのアーカイブ費用：入金、その他処理＞

・アーカイブ費用は、学会本部口座（三菱ＵＦＪ銀行・本店・7636701）に入金する。

・出納帳の項目は「ソサイエティ・グループ等への繰入額（※）」として記入する

　　（※）現在「ソサイエティ・グループへの繰入額」

　　　　　　⇒「ソサイエティ・グループ等への繰入額」に変更予定

・学会内の内部取引となるため、内部組織間では請求書、領収書を発行しない（発行する必要がない）。

・本件に関する国際会議としての会計証拠書類は、金額が記載されたガイドライン等、及び出金した際の振込控え、通帳コピーとなる。

・学会本部口座への入金を原則とするが、特定資産口座に剰余金がある場合には、本部口座へ費用（IEICE Proceedings Series へのアーカイブ費用）の移し替えを経理課（keiri@ieice.org）に依頼することができる。

＜剰余金30％の処理＞

・「IEICE Proceedings Series へのアーカイブ費用」を含む全ての費用（支出）と全ての収益（収入）を計上した後に、ソサイエティ・グループへ入金する剰余金30％を計算して、その額を学会本部口座（三菱ＵＦＪ銀行・本店・7636701）に入金する。

　剰余金30％の出納帳項目は、アーカイブ費用と同様「ソサイエティ・グループ等への繰入額」となる。

＜出納帳の送付希望と会計処理に関するお問合せは経理課におたずね下さい＞

・総務部経理課 … e-mail:keiri@ieice.org

tel:03-3433-6691（ガイダンス「４」）